

## 第1回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会会議録

- 日時 平成28年12月22日（木）午後3時～
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

### 委嘱状交付

#### 1 開会

進行：企画課佐藤課長

#### 2 町長挨拶

【挨拶】

（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会会議の第1回目に御参会を賜り、誠にありがとうございます。また、ただいま委嘱状をお渡ししましたが、ようやくここまで来ることができ、私として感慨もひとしおでございます。

私は、平成21年に町長の職に就き、遠軽町福祉センターの改築の是非については、私の公約の柱でした。財源の問題として、合併した自治体にとって有利な合併特例債がありますが、合併して10年間の期限があり、このチャンスを逃せば、その後は福祉センターなどを作ろうとしても、財政的に許されるものではありません。

そこで、その建設の是非について、住民の方による考える会を作っていただきましたが、今までは、大きな事業でも、役所や議会で物事が決まってしまうましたが、住民の声も入れてほしいという意見があり、考える会を作りました。そのかわり責任はしっかり持ってもらいますよと話しました。これは、民主主義の世界では、言いつばなしで無責任は通じないわけですが、考える会での議論の結果、施設を建設をすることが決定し、さらに場所なども決めました。

しかし、私が町長になって半年くらいしてから、ゴミの焼却施設がもたないという話が職員からありました。焼却施設の建設は、30億～40億円かかりますが、お金がない中で町村合併しましたから、今後の財政運営がどうなるか、自分なりに読みはありましたが、うちの町をゴミの町にするわけにはいかないということで、福祉センターの改築は、ごみ焼却施設の金額が固まるまでストップすることにしました。

ゴミ焼却施設は、もうまもなく完成することとなりましたが、福祉センターの改築に当たっては、先ほど話しました合併特例債を使用できる期限に間に合わなくなるということで、北海道の合併した22の市町の首長に声をかけ、合併特例債の期限延長運動を長崎県の自治体とともにやった結果、法律の改正により期限が延長され、15年間になりました。これで何とか建設が間に合うということになりましたが、それでも32年度末までに完成させなければならないということで、早急に作業を進めているわけでございます。

このような状況の中、建設用地に関しては、福路に作るべきという人と街中に作るべきという人に大きく意見が分かれました。しかし、考える会も私の考えも、街中の賑わいということを考えて街中が良いだろうということで落ち着いたわけですが、街中を選んだという事は一つ大きなハードルを持つこととなります。これは、用地買収という問題です。将来的には、駅との連動も考えておりましたが、用地交渉如何で動きも変わってきました。また、元

の遠軽中央病院の問題もありましたが、何とかクリアしてきました。時間に制限がある中で、街中の賑わいも考え、あの場所に持ってきたわけですが、もう少し計画性を持ってやるべきという意見もありました。しかし、先ほど話しましたゴミの問題もあったため、そうはいかないわけであり、とはいえ期限は決まっているわけです。

これから、さらに具体的な建設計画を皆様方に練っていただくということで、ようやくここまで進んできました。最後の仕上げになりますが、実はここにくるまで、用地の問題に関してはとても大変でした。

現在、道の駅の建設を進めていますが、スキー場と道の駅が合わさった施設を作り、そこをオホーツクの玄関口にするというのが私の考えです。建物の設計に入っていますが、そこまでの道のりは本当に大変なものでした。高規格道路と国道は開発局、国道まで繋ぐのは町道ですが、24時間管理が厳しいため、道道にしてもらえないかということで道庁と交渉し、ようやく開発局も道庁もOKになりました。しかし、最後に、公安委員会との協議で、国道に下す取付道路の勾配がきついため、ダメだということになり、その時には目の前が真っ暗になりました。いまさら戻れないということで国道を3メートルかさ上げするということになりましたが、そのお金はどちらが持つかという議論になり、結局は開発で持っていたことになりましたが、本当にそこまで進めるのは大変なことです。

町民センターも同じであり、まだ、用地交渉は全て終わっているわけではありませんが、厳しい状況の中で、ここまで進んできました。最後の仕上げをどのようにしていくか、皆様に考えていただきたいと思います。これは、新遠軽町の大きなシンボルとなるものになりますし、街の様相が一変するわけです。そういった仕事に携わることができ、私も嬉しいし、皆様方にとっても、必ず孫の代まで残るものとなります。とにかくいろんなことを話し合い、より良いものとなるよう進めていただきたいと思います。ひとつの事に特化したものにしたという人もいるかもしれませんが、全体のことも考えなければなりません。行政はひとつもそうであり、100対0はありません。

最後に、皆様の英知を結集して、より良い施設を作っていただきますようお願い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

### **3 出席者紹介**（資料1）

### **4 協議会について**

#### **(1) 遠軽町（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会要綱（資料2）**

説明：企画課今井

#### **(2) 協議会スケジュール（資料3）**

説明：企画課今井

【質疑】

発言者	内容
本田委員	平成29年度の例月会議で基本設計に対する意見を反映するという事になっていますが、会議のときに話をすることですが、会議前に資料はいただけますか。

事務局	事前に会議のお知らせとともに議案などもお渡しして前もって内容を確認していただき、会議の際に御意見を伺いたいと思います。
-----	---

## 5 会長及び副会長の選出

### 【互選】

発言者	内容
事務局	互選の方法について、御意見を伺いたいと思います。
秋田委員	事務局案はございませんか。
事務局	御意見なければ、事務局案を提案させていただいてもよろしいでしょうか。
委員	はい。
事務局	それでは、会長、副会長の事務局案を申し上げたいと思います。 会長には、元遠軽町文化センター等を考える会会長の伊藤榮三委員、副会長には、遠軽町自治会連絡協議会会長の宮崎良公委員を提案させていただきたい と思います。 御意見はございませんか。
委員	なし。
事務局	なければ、拍手をもって御承認いただきたいと思います。
委員	拍手
事務局	それでは会長に伊藤榮三委員、副会長に宮崎良公委員が選出されました。 伊藤会長から御挨拶をいただきたいと思います。
伊藤会長	ただいま御推薦をいただきました伊藤榮三と申します。 23年のとき、遠軽町文化センター等を考える会を結成し、その際には会長として、23年10月に町に進言書をお渡ししたわけでありまして、その中には、文化センターと福祉センターを併せたなかで作っていただき、場所も皆様にお配りしている図面に出ておりますが、その場所であるということで進言しております。 さきほど町長の挨拶にもありましたように、町民にとって大切なごみ施設の関係が老朽化によりまして、どうしてもそれを先に手を付けなければならないというようなことがありまして、若干、今日まで延びてきたというのが実態であります。 したがいまして、今日ここに仮称えんがる町民センター建設検討協議会ができて、いよいよ本番に向けて進むことができることになりまして、設計段階に入っていくこととなります。これから将来に向けて類のない素晴らしいものにしていきたいと、或いはまた、稼働率も上げて、稼働率が上がらないような施設になってはいけないと思っておりますので、それらを踏まえながら、財政の許すなかで、皆様方の新しい感覚の中での御意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたしたいと思っております。

## 6 報告

進行：伊藤会長

### (1) これまでの経過

【報告】総務部加藤部長

先ほど、町長並びに伊藤会長からもお話がありましたが、この町民センターの関係につきましては、旧遠軽町からの長年の懸案事項でございまして、佐々木町長の一期目の選挙公約として、多くの町民の皆様にご議論を深めていただき、今後の方針を定めていきたいということで平成22年に文化センター等を考える会として、町民30名、アドバイザー1名により文化センターに加え福祉センターにつきましても議論をいただき、平成23年10月に遠軽町文化センター仮称等の建設に関する進言書をいただいたところでございます。なお、考える会の内容につきましては、広報を通じまして、町民の皆様にお知らせをしてきたところでございます。

進言書の内容につきましては、詳細は省略いたしますけれども、建物は福祉センターの代替施設としての役割を担った文化センターの建設、建設場所につきましては、旧遠軽中央病院跡地及びその周辺という内容であります。その後、役場内部におきまして、様々な検討をし、総合的に判断いたしまして、一時的にごみ焼却施設建設のための時間を要してしまいましたけれども、平成25年9月に老朽化した福祉センターの建替えを基本とする方向で考えを固めたうえで、平成27年3月の議会におきまして、建設場所につきましては、現在の岩見通コミュニティ広場駐車場周辺、岩見通南1丁目付近でありますけれども、そこを予定地としまして、今後、関係機関等に説明をさせていただきたいという報告をしたところでございます。

それを受けまして、平成27年5月には、遠軽商工会議所並びに遠軽町商店街振興会連合会に概要を説明させていただいたところであります。

建設場所をこの地域に決めた理由になりますが、まず一つ目は文化センター等を考える会からの意見でございます。先ほど申し上げましたように、平成22年10月から1年間議論をしていただきましたので、その導き出した進言書を尊重して、でございます。

二つ目としまして、遠軽町の玄関口としての駅前整備であります。遠軽町のシンボリックな建物を建設することによりまして、中心市街地の活性化を目指すものであります。

三つ目としまして、中心市街地としての町の賑わいでございます。現在の福祉センターは市街地の中心にありまして、様々な活動に利用されており、地域の経済に貢献しているということでございます。

四つ目としましては、JR遠軽駅のバリアフリー化でございます。階段の解消と申し上げます。各種アンケート、調査等により、駅前の階段の解消が望まれておりまして、車いすへの対応も不可欠であるということでございます。

さらに、駅前広場としての交通アクセスの問題もあります。現在、町内循環バス等の駅前への乗り入れができない状態となっておりますが、JRとバスのアクセスを良くすることにより、地域住民ですとか高齢者の地域活動の活性化を目指すものでございます。

六つ目といたしまして、施設の利用しやすい場所でございます。通勤通学の待ち時間の有効活用、待ち合わせ場所、買い物客の休憩所等、さらに観光客への案内所にも利用できるかと考えております。

七つ目は駐車場の確保でございます。各集会、講演会、総会等大きな事業につきましては、グラウンドや公園等を利用することによりまして、大変不便な状況となっていることから、駐車場のある程度の台数を確保したいと考えているところでございます。

最後になりますが、病院跡地の問題であります。中央病院は廃院になり、相当数経過しておりまして、老朽化に伴う崩壊、さらには防犯対策にも問題があります。その関係や、景観

を損ねることもございますので、そこに建設したいという形でございます。これらの様々な理由が考えられるところでございます。

これを受け、平成27年度におきまして、旧遠軽中央病院跡地の取得につきまして、所有者の学田病院と協議を進めてまいったところでございます。一時、取得を断念せざるを得ない状況となりまして、岩見通南2丁目側に用地取得の打診をさせていただいたところでございます。結果的には、本年9月に町に所有権移転となりましたけれども、施設へのアクセスを考慮しまして南1丁目を対面交通とする場合につきましては、やはり、南2丁目の用地を求める必要があること、また、ふぁーらいとにつきましても利活用と共に、一体的な周辺整備をすることにより、市街地が一層活性化され、地域経済の好影響が期待できるものと考えてございます。

現在の状況ですけれども、岩見通南1丁目の用地交渉並びに旧中央病院の解体費の算出及び仮称えんがる町民センター建設に伴う基本設計・実施設計委託業務、さらには岩見通南2丁目補償費の算定業務委託を進めているところでございます。さきほど申し上げましたが、建物とは若干離れてしまいましたが、遠軽駅の階段の解消を含めたバリアフリー化ですとか、駅前広場の整備につきましても、関係機関と協議を進めている所でございます。

今回、この検討協議会ですけれども、建物完成後につきましては、長年にわたり多くの町民の皆様が利用する施設となることから、皆様と共通認識のもと、様々な目から検討を進めていただきますようお願いしたいと思っております。先ほども紹介がありましたけれども、この協議会には、アドバイザー並びに設計会社の担当者も加わり、皆様と協議していくこととなりますので併せてよろしくお願ひしたいと思ひます。

**(2) 建設スケジュール**（資料4）

報告：企画課今井

**(3) 建設内容について**（資料5）

報告：企画課今井

**(4) 遠軽町文化センター等を考える会進言書について**（資料6）

報告：企画課今井

**7 意見交換**

**【意見】**

発言者	内容
伊藤会長	お手元の資料に基づきまして、それぞれ思うままに話をさせていただきたい。そして、皆様の御意見をいただいたあと、アドバイザーの太田先生からそれらを踏まえて、御意見をいただければと思ひます。
佐藤委員	資料5の整備概要でメインホールの固定席600席程度、立見席200人程度とありますが、近隣では同じような規模のホールはありますか。
事務局	斜里が600席、湧別のさざ波は422席、TOMは752席、そのうち382席が可動します。その他には、深川市の文化交流ホールみ・らいが679席、北広島市の芸術文化ホール花ホールが597席となっております。
高桑委員	美幌もそれくらいだったと思ひます。

伊藤会長	<p>一番問題になるのが座席数です。本当に 600 でよいのか、これでは少ないのではないのか 800 くらいほしいのではないのかという意見が出てくると思います。</p>
高桑委員	<p>斜里が 600 くらいですが、斜里ができて 10 年くらい経ちますが、最初、斜里も 800 くらいという話でしたが、実際 600 でやってみて、立見席はありませんが、今の状態を聞いてみましたら、600 席で年間に満席になるのは、年間 2 回程度だそうです。その 2 回は町民が主催するカラオケ大会等で埋まるのであって、その他の会合などで使用するときは、約 300 人だそうです。</p> <p>600 で 300 の時に真ん中に仕切りを入れるのか聞きましたら、そういった設備がないから、600 で空いたまま使用するそうです。バラバラと入れれば埋まっているようだけれども、まとまったら半分くらいになる。</p> <p>人口が当時から比べたら減っています、遠軽も 5 年前の皆さんで検討しているときには人口が 12,000 人程度でしたが、今は 10,000 人です。その辺のことを考えた時に 600 でよいのか、550 でもよいのでは、立見席は 200 くらいないな、という議論になってくると思います。</p>
大西委員	<p>資料 5 の事業構想図で用地の買収について、民間の交渉はすべて終わって最終決定という事でしょうか。(駅前が) 成形地になっておらず、道路に面していない点がどうなのかなと思ひまして。</p> <p>また、今回、活性化に繋げるという目的とのことですが、岩見通南 2 丁目の道路でイト電商事の部分が道路の関係で移転ということですが、岩見通で核となるお店として商店街の方は考えていると思いますが、それが移転という事を想定にするとということになると、相反することになるのではと思います。</p>
事務局	<p>1 点目の資料 5 の芝生広場の上の遠軽駅と接した部分のことと思いますが、ここについては、この検討を始める前に一番初めに所有者の方と交渉させていただき、相当な時間はかかりましたが、結果的にお譲りできないというお話をいただきました。</p> <p>上の部分には、JR の土地になりますが、そこも含めて当初の計画では、駅とできるだけアクセスを良くしようと考えており、この場所も含めた中で計画をしていましたので、一番初めに協議をさせていただきましたが、あきらめざるを得ないという形で、この部分については、現在計画を持っておりません。</p>
大西委員	<p>ここは現在、何か利用していますか。</p>
事務局	<p>更地の部分と、一軒住宅が建っております。</p> <p>町としましても、ここが購入できないと JR との交渉に関係しますので、交渉した結果この部分がダメということになりましたので、計画からは省いております。ただし、所有されている方の考えが変わりお売りいただくことになれば別ですが、今のところは難しいのかなと思っております。</p> <p>2 点目のイト電の件ですが、現在、建物の補償の積算をしております、それをもって、交渉という形になろうかなと考えております。ふぁーらいとを含めた中で一体的に整備したいという考え方をもっておりますので、できれば、</p>

	<p>町としては取得したいと思っておりますけれども、交渉事でございますので、これから話し合いを進めたいと思っております。</p> <p>地域の方からも色々とお話は伺っておりますが、この町民センターを建てる事によってこの地域が色々な形で賑わいを出せるように計画を考えておりますので、そういう意味合いから言えば、ここが移転されたからといって、極端に寂しくなるということは考えておりませんし、賑わいのためにこの場所に建設する計画としております。</p>
大西委員	<p>結果的には、ここから移転するということですか。</p>
事務局	<p>いえ、まだわかりません。これから交渉していきますので、その結果、ダメという事になれば、この部分を除いて考えなければなりません。</p>
伊藤会長	<p>駅の前に鉄道の電気関係のものが入っている施設がありますが、それも支障のひとつであり、当時の考える会の際には、JRと話をして何とか移転してもらえばという話をしていたが、とても高額となるため、そこに経費を使うと、大事な方に金が使えなくなるということがあったようです。</p> <p>もうひとつには、駅のホームを降りてから個人の土地になりますが、それは買収できなかったわけですが、当時、進言書をまとめたときには、建物を病院側に持ってくる考え方で進言書を作りましたが、JRの関係と個人の土地の問題が解決しないものですから、病院側を駐車場にして、平場のほうに建物を配置する案としています。</p>
高桑委員	<p>大西委員の話の続きになりますが、建物の線路側に道路がありますが、遠軽交通のところで止まっていますが、駐車場の位置まで道路が延長されないのでしょうか。</p> <p>また、駐車場はこの位置でよいと思いますが、岩見通を対面通行にするとすると、道路が建物側に広がり、イト電も道路用にしなければならないという事になっていきますけれども、今までどおり一方通行でも、中通から入る道がありますから、まっすぐ上がっていけば駐車場に行く道がありますので、対面通行にして公安委員会などと協議をしなくても、一方通行のままにして中通から上がり、もしくは大通から上がり、イト電さんのところから真っ直ぐ線路のところに行くとなれば、道路を拡幅しなくてもいいし、イト電さんも移転しなくてもいいし、今までどおりではないかなと思います。</p>
伊藤会長	<p>これは、大型車が通るということも考慮しています。ということは、機材を搬送するのにトラックが入りますし、地方からバスで来ることも考えると2丁目も広げようという構想になったのではないかと思います。</p> <p>また、線路側の道路はなくなります。片方（岩見通）を広げてもう片方（鉄道沿線通）は既存のままだと敷地が狭くなりますので、そういったことも考慮していると思います。</p>
事務局	<p>さきほど図面でお示しておりますが、駐車場や建物の配置はまだこれからですので、駅側からのアクセスの問題ですとか、コミュニティ広場駐車場がイベント等で使われていますので、その関係ですとかいろんなことを考慮しながら</p>

	ら配置することとなりますので、この図面はイメージで書いておりますので、これがそのまま進むという事ではございません。
高桑委員	私案では、この配置が良いと思います。
事務局	駐車場に停めて、そこからJRに行くという事であれば、バリアフリーでつながるとい事になりますので、どのような形が一番良いのかこれから協議し、皆様にお示した中で議論していただくこととなります。
高桑委員	大型バスに関しては、色んなホールを見ていますが、お客を降ろしたあとは、例えば、公設グラウンドに駐車するとか移動させていますよね。
事務局	今まではそのような形になりますが、20台や30台となれば別ですが、5台程度確保することを考えておりますので、お客さんを降ろしたあと、移動して敷地内に停めるというのが、色々な施設を見てもベターだと考えております。
佐藤委員	今回の町民センターは、町民センターと福祉センターを兼ねたものというコンセプトで進んでいくと思いますが、現在の福祉センターのすべての会議室の数を確保するという考えではないですよ。
事務局	ありません。福祉センターには複数の会議室がありますがけれども、今考えておりますのは、すべてを町民センターで賄うのは難しいと考えておりますので、例えば、仕切りを外すと大きく使えるとか、楽屋なども使わない時にはひとつの会議室として使えるようなものとして、多目的に使えるよう考えていきたいと思っております。 ある程度固まってきましたら、どの程度の会議室が必要になるのか、今の福祉センターの利用状況についても調べておりますので、その辺も考えながら進めたいと思っております。
本間委員	何階建てになりそうですか。
事務局	2階建程度かなと考えておりますが、それもこれからになります。高さについても条件によって変わってくると思いますが、延床面積としては、5,500㎡程度と考えております。
事務局	今の福祉センターよりは大きめに考えております。現在は5階建ですが、新しい施設は、ホールと会議室で2階程度のものとなります。ただし、敷地が決まっていますので、色々なものが必要になればそれを確保していくためには、2階から3階にということにもなってくると思います。
宮崎委員	私は、前の考える会には参加していませんから、今日初めて検討協議会に参加しましたが、この協議会の在り方になりますか、どのような役割になるか考えてみましたが、ここで自由に話を出して、それがどのようにになりますか。この意見が良いからこれを取り入れるとか、ここで話し合ったことを最後にまとめて進言するという形になるのでしょうか。
伊藤会長	最後は、青写真ができるところまで行きます。
事務局	今回は、まったく平面図もない状況でございますから、皆様から意見を聞いた後に平面図を聞いて、内部でも検討しますけれども、設計業者さんに図面を



	書いてもらい、そのなかで皆様の意見を聞き、最終的には、再来年の3月頃には決定していきたいと考えています。
伊藤会長	<p>文化ホール、音楽ホールを作るだけというのであれば簡単なことなんです が、福祉センターの機能も一緒に併せましょうということですから、非常に複雑になってきます。</p> <p>これから進めていく上において、福祉センターの稼働率も調べなければなら ない。実質、あれだけの部屋数が必要なのかということもできてきます。また、 福祉センターの場合は、大広間を使って、パーティを非常に多く実施してお り、ホールの利用度は高いと思います。ですから、ああいったものも併設して いかなければならないということも考えていかなければなりません。</p> <p>音楽ホールだけではなく、会議室も入り、例えば、20の部屋があったとす れば、それを15にすればよいのか、あるいは10くらいに減らせばよいの か、または減らしても仕切りを入れればよいのかという問題もできてきます。大 ホールも稼働率が非常に高いから、同じようなものが必要になってくるという ようなことも考えていかなければなりません。</p>
本田委員	<p>稼働率のお話がありましたが、福祉センターは年間に何回か使用しますが、 4時間毎の料金設定であり、私たちの団体としては4時間という幅は必要なく 1時間半とか2時間なのに4時間の料金を支払わなければなりません。</p> <p>それは、とても稼働率が悪いと思いますので、そういったことも改善しても らわなければならないと思います。</p> <p>紋別の市民会館も遠軽と同じ4時間になっています。文化団体は4時間も必 要なく、1時間にすればもっと利用者は多くなるのに1時間のところを4時間 の枠となれば稼働率が悪くなります。</p> <p>福祉センターの稼働率が参考になるかどうかといえば、参考にならないと思 います。</p>
事務局	<p>まだ、図面ができていないわけではありませので、そういった意見をもとに 1時間で区切って貸出できるようなことも考えられないわけではございませ ん。</p>
伊藤会長	<p>ちょっと矛先が違い、ここで言ってもダメなことです。</p>
佐藤委員	<p>基本設計の我々の意見でたたき台を作って、設計会社さんが具体的に作る ということよろしいですか。図面の青写真を作り、さらに検討して本格的な図 面にするとということですね。</p>
伊藤会長	<p>そうですね。</p>
宮崎委員	<p>例えば、座席を何席にするという話をしても、色々な意見が出るとしま す。それをまとめるのかどうか聞きましたが、最後はまとめるところまでは行 きませんよね。</p>
事務局	<p>今回も600席程度という形で考えていますので、それが550になるとか、 ある程度誤差はあっても良いのかなと思います。300と600では違いますが、 遠軽町としてはこのくらいが必要ではないかという意見をいただければよ</p>

	<p>いと思います。前の考える会の時には、800席とか1,000席という話もありましたが</p>
伊藤会長	<p>今日はアドバイザーとして太田先生にお越しいただいております。せっかくの機会ですのでお話をいただければありがたいと思います。</p>
太田アドバイザー	<p>色々な意見をお聞きしました。劇場を作るときには、このような検討委員会というのがとても大事であり、例えば、1960年代はほとんど技術者とか市民の意見を聞かないで、行政で考えて建ててしまいました。できあがってから、さあ使ってくださいということで、全然使いにくい劇場が日本中にできました。</p> <p>それが徐々に、60年代、70年代、80年代、90年代と日本中で月に10館くらいが建ちました。今、3,000館くらいあるでしょうか。それが、北海道では斜里のホール建設くらいから、技術者、舞台の裏方によって照明がどのくらいいるのか、間口がいくつで奥行きはいくらくらい、なぜ奥行きはこのくらいいるのかということ、我々使っている側がこのような理由で、日本舞踊をやるならこういう理由でこの奥行きが必要なんですよ、袖で着替えたりするから、このくらい必要ですというようなことをみんなで意見をどんどん出すようになったから、最近では使いやすい劇場が増えてきました。</p> <p>そういった意見を皆さんがどんどん出していただいて、それでたたき台を作っていただけということで、それで舞台の大きさはどのくらい、楽屋は何人くらい入れる、電源はどれくらいとれる、通路はどれくらい必要か、そういったものを書いていただいて、この通路では通れないとか、楽屋のドライバーはみんなで使うんですよ、だから部屋で2キロじゃ足りないから、もっと電源が必要でしょということや、譜面台がいくつ、ピアノが何台、そういったことをみんなでたたき上げてそれで図面を書いていただいて、あがったところでまたみんなで色々意見を出していくということになります。</p> <p>先ほどの時間の問題では、1960年代はずっと同じでした。午前、午後、夜間という3つの区分がなくそれで貸し出していました。それが徐々に、この時間はいらないんだ、ちょうど3時から7時まで必要だというときに、その区分がないため、そうすると13時から21時までということになります。今は時間貸しをするような劇場が増えてきています。1時間単位という劇場が増えていきます。</p> <p>ですから、新しい劇場を造るわけですから新しい考え方で新しいものの見方で劇場を作っていくことがとても大事かと思えます。劇場だけとかコンサートだけとかいうものじゃなくて、町のコミュニティというのをどのようにやっていくかということも大事なところですよ。</p> <p>そこで、駅のそばにできるということは、私はとても良かったなと思っています。これが、車で何十分もかかるような、どこかの公園の景色が良いからそこに建てようというのが結構ありますが、演劇を見て、舞踊を見て、街に出て、今日の芝居は良かったよねという話を一杯飲みながらするというような文化がでてくるということがとても大事です。</p>

	<p>これから次の時代を担っていく子供たちが、どのくらい街のなかに電車に乗る前などに中に入って寄ってくれるか、ガラス張りの暖かいところで勉強するようなところを作るかということをやっていないと、何もやっていない時にはドアが閉まって、向こうは見えるけれども何にもそこには入っていないということを見ると、いつもそこは開放していて子供たちが行き来していて、そこで勉強している、そこで人形劇が始まる、色んなことがおきてくるということだと思います。</p> <p>劇場と病院、劇場と商店街、劇場と学校、劇場と施設というのが連携していくということがとても大事であり、劇場は劇場だけというのではなく、劇場の職員が病院でコンサートをやる時にはマイクを持っていったり、劇場のものを持っていったりする。</p> <p>その施設には技術職員がいて子供たちを育てていく、高齢者が歌を唄い、踊るのをサポートする。そういった色んなことが劇場で起こってきます。それを誰が起こしていくというのは、使ってくれる皆さんの考えであり、そのようにしていかないとこれからの劇場はダメになります。</p> <p>全国には 3,000 館以上ありますけれども、公立文化施設ホール協会に入っているのは 1,300 館くらいであり、他はなぜ入らないかということ、会費の 2～3 万円の予算が出てこないからです。それではダメなんですよ。劇場は作ったから、はい終わりではなくて、ハードを作ったあとのソフトでどういうことをやっていくか、誰のためにこの劇場を建てたのということになり、そのあと、技術者がどのくらいいるか、例えば、踊りをやるのに技術者がいないから、こんなにいい劇場があるのに、照明がいっぱいあるのに、マイクがいっぱいあるのに技術者がいないということになると、札幌や旭川から連れてこなければならず、とても人件費がかかってしまいます。</p> <p>そうではなくて、ここには、美術、音響、照明、これから映像技術も大切ですが、そういった技術者を入れなければならない。そこまで行くのかどうかはわかりませんが、そういうことを皆さんで話していき、この劇場の在り方というのをどんどん進めていくとよいと思います。</p> <p>コミュニティというのは、ある一定の街の時間、食、暮らしということと同じ空間で考えて、非常に難しいですけども、それだけだと創造性が無くなってしまいます。</p> <p>ですから風土といわれる土の人と風の人が出て、色んな意見を聞きながら進めていくということが劇場には大切かと思います。ここができたおかげでこんなに街が面白くなったという例が日本中にあります。</p> <p>どんな劇場が必要か、日本中の 30 年 40 年経った劇場がたくさんあります。音楽ホールというのも確かに大切です。どのように使っていくか、音楽だけでいいのか、例えば演劇や舞踊はいいのか、子供たちの能力とか発想とかは鍛えなくていいのか、という色んな御意見があると思います。そういったことを皆さんで出し合って、この劇場の在り様を考えていくということです。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。予定していた時間がきましたが、本当はもう少し先生にお話しいただく時間があればよかったのですが。</p>

太田アドバイザー	<p>今、札幌にコンサートホールを作っています。NHKの市民会館がある北側ですけれども。これが再来年の10月にオープンとなりますが、すごい劇場です。私も委員に入っていますが、例えば国立劇場のようにセリをいっぱい作るとかいう話が出ています。</p> <p>しかし、年に何回使うかわからないから、セリなんていらんとか、どんどんいらんものをなくして行って、使いやすい劇場にしていくということで、これはいるよねというものだけ吟味して作っており、また機材も入れるというふうにすると、よりよい劇場になると思います。</p>
伊藤会長	<p>今後進めていく上において、太田先生のお話が参考になればありがたいと思っております。設計業者さんのほうから何かありますか。</p>
コンサルタント	<p>プロポーザルでは提案書という形で私どものアイデアを示させていただきましたが、設計についてはこれから協議会のなかで色んな意見をいただきながら、できるだけ反映し、みんなで作り上げていきたいということで、是非、成功させたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>皆様から、他になにかございますか。</p>
藤江委員	<p>この会議はこれから何回もやるわけですよ。会議の時に意見がありましたというだけではなくて、委員が委嘱されているわけですから、ここで話したことで、あれを言っておけばよかったというのであれば、日常の中で意見を聞く場があっても良いのではないかなと思います。如何ですか。</p> <p>限られた時間のなかで出せと言っても、全部一人ひとり聞いていくのもいいけれども、あの時こういう話があったけれども、別な考えも出てきます。</p> <p>また、福祉センターで12月3日に歳末チャリティーをやりましたが、600人入りました。そういった身近な話をしてくほうが良いかなと思います。だけれども、ソフトの面では先生が言うように日常の中でどんどんやっていけばよいし、やり方としてどうですかと聞いているんです。</p>
事務局	<p>会議の場でなくても、藤江委員言われたように思いついたことを事務局に言っていただければと思いますし、各団体から選出された方もいますので、例えば、議案を各団体の会議のときにみていただき、その結果をまたこの会議や別の機会でも結構ですと言っていただければと思います。</p> <p>私共としては、逆にそういった色んな意見を伺いたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
大西委員	<p>今回、基本的な建設について、検討協議会が土台になっていますけれども、太田先生がおっしゃったようにハードができると同時にソフトがスタートするような形でなければだめだと思います。</p> <p>何をやるかということによって、検討の中にそういったことも入ってくると思いますので、ハードとソフトを並行して何をやるかということはこの会議の中で検討していくべきではと思います。</p>
太田アドバイザー	<p>そのとおりだと思います。何のために、誰のために劇場を作るのか、何が大事なのかということで作っていかないと、廊下の寸法や簀子の高さですとか、そういうのを全部決めなければなりません。</p>

	<p>皆さんがこの町は今までの文化でよいのですか、できるのだから新しい文化を創り出さなくてもよいのですかということで、今までのことをやっていくのであれば、これぐらいの高さで、これぐらいの舞台袖でとなりますが、そうではなくて新しいもの、遠軽の新しい文化を創っていこうよという、新しい何かが出てきてほしいです。</p> <p>そのようにやるためには、もっと広場として、劇場と芸術文化と生活文化と相まった広場であるべきだし、そういった場所づくりだと思います。</p>
平野委員	<p>文化センターということですが、福祉センターを兼ねているということでしたよね。もともとの建物の目的が見えないんですけど、劇場がほしいのか、ただ単に新しい建物を作るのにどこまでの目的を入れるのかなと思うのですが。</p> <p>文化センターとして劇場ホールも必要ですし、今まで福祉センターとして使っていた会議室、また、今は商工会議所の事務局が入っていますが、そういうのもどこに入るのか、どこまでの目的にするのか</p>
伊藤会長	<p>音楽ホールと福祉センターを併せたものを作りますよということは理解していただいていると思います。建物の中にこういったものを入れるのかということで、今ははっきりしているのは、商工会議所だけです。</p> <p>前回の会合を持ったときに、商工会議所はどうするのですかという話があり、商工会議所は自前のものを持ってそこに入るのですかという話で、商工会議所は自前のものを作る財源もないし、とにかく移ったその場所に入りたいという意向ははっきりしています。</p>
大西委員	<p>以前の討議の際に、福祉センターが耐震性の問題で将来ダメになるということがあったのですが、それで福祉センターを新しいところに移るという形の中で協議しないと、場所も商工会議所の建物であれば街の中に建てればよいということで検討してきたところです。ですから、福祉センターに音楽ホールが加わるというイメージになると思います。</p>
本間委員	<p>ふぁーらいともそこに加わってくるということですか。</p>
事務局	<p>ふぁーらいとに関しては、今のところ壊すことは考えておりません。今の施設をどのように使えるかということで考えており、町民センターの別館会議室とすることもありますが、また別な形で中を改造して、例えば子供が集まる施設にするとか、色んな形があると思います。</p> <p>今回考える町民センターとふぁーらいとが、別々な建物ということではなくて、両方を生かしながら、皆さんがそこに人が集まってくるようなものを考えていったら、そこが賑やかになってくるのかと思います。また、何に使うか決まっておりますので、そのへんも皆さんに議論をいただければと思います。</p>
藤江委員	<p>建設検討協議会としてハードの部分をするのかということのほかにはソフトの部分はまた別の委員会等で決めていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>まだ、ありません。今は検討協議会しかありませんが、今後、論議していきたいと思っています。</p>
藤江委員	<p>この組織の中でそういった議論もしていけばよいと思います。</p>

伊藤会長	今日は、皆さんが好きな事を言っていただければと思います。
藤江委員	そういったら、それはちょっと違うのではと言われたが。
伊藤会長	それは、料金の話だったので、これはまた別の話なので。だけれども使用方法としてはそういう方法もありますが、料金はどのっていうと、これはまた違う話になります。
本田委員	<p>私は、ずっとダンスに関わってきて、紋別、湧別、生田原の子たちが、遠軽にダンスを習いに来て、私たちも紋別にも行くし、湧別にも行きます。遠軽に習いにくる子たちは、だいたい90人くらいの子たちがいますが、紋別では教える場所がありません。色々な面で苦労しています。</p> <p>この子たちが育って、都会に行ったときに遠軽ってすごいところだねって言われるようにそういう町にしたいと夢見て、10年以上やってきました。</p> <p>生田原から来ていた子で、東京でミュージカルをやっている子もいます。東京で先生をやっている、遠軽に戻ってきて一緒にやっている人もいます。</p> <p>紋別にはダンスをできるところがありません。遠軽にこんなにあるのってすごいなと思っているので、そういう部分も含めて、ハードも大切だけれどソフト部分をちゃんとしていかないとだんだん使われなくなっていくということが一番心配です。</p> <p>その部分で、稼働率を良くすれば、常に人が来ます。稼働率が悪ければどんどん人の出入りが無くなってしまいますので、それが一番心配だなと思いました。</p> <p>申し訳ないけれども、ふぁーらいとも年間何件か利用されているとのことですが、ほとんどの人はふぁーらいとが使えることを知りません。もう閉まっているものだと思っています。</p> <p>そのへんのやり方の稼働率の悪さが、建ててしまった後に疲弊してしまうのではないかなと思います。</p>
伊藤会長	稼働率が上がるように一生懸命知恵を出さなければなりません。
高桑委員	<p>今の話の流れのなかで、ソフト面について、他の町の話ですが、委員の方達が建物ができる前から運営実行委員会を作って毎月1回会合を開いています。今年はどういう目標でどういう形のものをやるのか、ハードをいかに生かすかということをやっていかないとダメだと思うので、委員を中心にメンバーを作り、斜里では20人くらいメンバーがいますが、毎月1回月例会を行い、反省も含めた議論をし、建物をいかに循環させるかということ。遠軽も絶対に必要だと思います。</p> <p>5年なんてすぐにきますから、2年3年前からそういったソフトも含めたなかでやっていかなければダメだと思いますので検討してもらえればと思います。</p> <p>5年前の考える会の進言書にも書いてありますが、これをたたき台に、もう少し強力でソフト面の充実が必要です。</p> <p>遠軽町では文化連盟や音楽関係で会合をやっていますが、もう少し幅を広げた人たちと検討委員会みたいな組織を作ってやったほうがよいと思います。せっかく建物ができるのに運営がうまくいかないとダメだと思います。</p>

事務局	<p>平野委員の意見で大事なところなので補足しますが、行政内部としてもまだ所管する部署が決まっておりません。</p> <p>音楽ホールと福祉センターの建替えということのみが決まっています。引き続き福祉センターの貸館だけということであれば住民生活課が所管になりますし、公民館的な要素でそこに人が集まって社会教育的な事業を行うということであれば教育委員会が所管するであろうという事は考えているところですが、その方向性は行政内部では決まっておりません。</p> <p>先ほど、会長からも福祉センターの建替えであれば、おのずと商工会議所が入るのではという話もありましたが、その部分も決まっていないという状況です。御理解をいただきたいと思います。</p> <p>どの部署が所管して管理していくのか、または指定管理として文化連盟さんをお願いするのか、町民有志の方に管理も含めて入ってくるのかということも含めて、今のところは決まっていない状況です。この会議のなかでそういった声が出てくれば、そういった方法も考えられるのかなと思います。</p> <p>現状としてはそういった状況であるということをお願ひしたいと思ひます。また、この会議以外にも役場内部で検討する会議も持っていますので、並行して進めていきたいと考えております。</p>
伊藤会長	<p>言いたいことはたくさんあるかと思ひますけれども、今日はこれで終了したいと思ひます。</p>

## **8 次回の日程について**

平成29年1月27日午後3時から遠軽町役場において開催する。

毎月の会議について、第4金曜日の開催を基本とするが、調整が必要な場合は、その都度協議する。

## **9 閉会**

(午後4時50分閉会)

## 第1回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	横 田 昌 弘	遠軽町文化連盟	
委員	本 間 克 明	遠軽商工会議所	
委員	秋 田 博	えんがる商工会	
委員	宮 崎 良 公	遠軽町自治会連絡協議会	副会長
委員	村 上 武 志	えんがる町観光協会	
委員	橋 口 理 教	遠軽青年会議所	
委員	本 田 ちづ子	遠軽町商店街振興会連合会、ダンス教室 ami:φアメリ	
委員	藤 江 昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	高 橋 利 明	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	平 野 由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	伊 藤 榮 三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	大 西 定 信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	清水川 一 儀	一般公募、連合遠軽	
委員	高 桑 健 次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	佐 藤 登	一般公募	
アドバイザー	太 田 晃 正	有限会社時円プランニング代表取締役	
	佐々木 修 一	遠軽町長	
オブザーバー	二 瓶 雄 介	民生部住民生活課主幹	
オブザーバー	伊 藤 雅 彦	経済部商工観光課長	
オブザーバー	小野寺 宏	経済部建設課主幹	
オブザーバー	井 上 隆 広	経済部建設課建築担当係長	
オブザーバー	久 保 英 之	経済部水道課長	
オブザーバー	堀 嶋 英 俊	教育部社会教育課長	
事務局	加 藤 俊 之	総務部長	
事務局	佐 藤 祐 治	総務部企画課長	
事務局	斉 藤 隆 雄	総務部企画課参事	
事務局	今 井 昌 幸	総務部企画課主幹	
事務局	松 村 圭 悟	総務部企画課係長	
コンサルタント	菊 池 靖	株式会社石本建築事務所札幌支所副支所長	
コンサルタント	武 部 幸 紀	日本都市設計株式会社	
計	30名		

欠席：井上幸次委員（北見地区吹奏楽連盟遠軽支部）、平間喜弘委員（遠軽がんぼう太鼓同好会）